菅野会長

本部・田口雅生氏

外川会長

菅野審査委員長

千葉三菱・篠崎相談役

楽しかった夏の全国大会。
また、お会いしましょう。

CMSC大阪　6月4日

ホワイト＆CMSCダートトライアル

スムーズな運営に満足

'95E地区戦の第4戦目として、6月4日に'95ホワイト＆CMSCダートトライアルを開催しました。

昨年はジュニア戦でしたが今回は地区戦ということでクラブ員もいいコンディションで走ってもらおうと前日のコース整備も十分に行ないましたが、なんと夜からの雨で当日はウエットコンディションになってしまいました。

しかし昨年の経験もありスムーズな競技運営ができ、大変コンペティティブな競技会となりました。結果の方はCⅢクラスのランサーEVⅢが総合1位と三菱賞をさらっていきました。また来年もいいイベントを行いたいと思います。

（CMSC大阪　杉本達也）

CMSC鹿児島
山口　修

全日本ラリー第6戦優勝記

悪天候の中、気合いの逆転優勝

'95全日本ラリー選手権第6戦「ひえつき'95」が7月22・23日に宮崎県の椎葉村で行なわれました。実は1ヶ月程前に練習のつもりで参加したダートトライアルで、あろう事か転倒してしまい、車両の修理に手間取り参戦当日の夜中まで整備に追われ、睡眠時間も1時間しか取れず体調は絶不調。

序盤の第1ステージを7位と出遅れました。続く第2ステージ、1ステージ終盤に大量の雨が降ったためウエット用タイヤをチョイス。しかし路面はなんとドライのままでガックリ。頑張って3位までは追い上げたものの、トップとの差は14秒もついてしまいました。残る第3ステージはSS4本とラリー区間4ヶ所のみ。午後から台風の影響もあり雨、風が強くおまけにガスまで出て最悪のコンディション。しかし得意のナイトステージを気合いで走り抜け何とかフィニッシュ。結果1秒差で逆転、今季初優勝が出来ました。

CMSC入会直後の優勝だけにとてもうれしく思います。今後も頑張っていきますのでよろしくお願いします。

優勝へ向けて爆走する山口選手の車。副賞の椎葉村の民芸を手に喜びの表情。

CMSC群馬
岩田恒廣

パイクスピーク・オートヒルクライム参戦記

伝統の大会で5位、完走

6月26日、現地コロラドスプリングスで1ヶ月前に船積みしたランサーエボⅢの受け取り。コンテナの鍵を開けてもらうと……これは何だ! ランサーはコンテナの中でFTOに追突していました。ボディーショップに入院して3日、何とか車検に合格。

練習2日目、レース参加中最大の難問にぶつかりました。申し込んでいたショウルームストッククラスはFIA公認レースでない為、参加すると日本に帰ってからFIAライセンスの剝奪になるとの事。そこでクラスをパイクスピークオープンクラスに変え予選を走り、6位でゴールしました。

7月4日アメリカ合衆国独立記念日、決勝の朝。吐く息は白く山の上は雪が降っていました。何十年に一度かの異常気象にがっかり。ギャラリーはこの時だけ前日からキャンプが許され、人と車でいっぱいです。パドックに競技車が入りサービスが走り回る。例年にない雪路面に対応する為です。スタート直前コース短縮の発表があり、約3分の2のコースで競技開始。スタート順が近づくにつれて、頭の中にコースを思い浮かべる。オイル温度は、タイヤは、酸素ボンベは……。1回のトライで順位が決まります。ワンミスも許されない。プレッシャーが高まる。放映用のテレビカメラ、空にはヘリコプター。ロケーションは最高だ。スタートするとすぐにわかりました。タイヤ選択のミス。これを気にしつつ全開で走る。いやな気持ち。あ〜もう一度タイヤを変えてスタートからやり直したい。スイッチバックのヌチャヌチャ路面をスピンさせず何とかゴールのチェッカーを受けました。辺り一面雪で真っ白。自分の頭の中のようでありました。9'25"2、5位、完走。

写真上 チェッカーをうける岩田車。写真下左 家族とポーズ。力走中の岩田選手。

CMSC大阪
杉本達也

ラリーオブマレーシア参戦記

念願の海外ラリー初挑戦

8月12〜14日、'95アジアパシフィックラリー第3戦第19回ラリーオブマレーシアに出場してきました。今回も三菱とスバルの戦いが注目されており、日本から毎年多数の出場者があります。私自身、海外のそれもWRCに並ぶグレードのラリー参加は初めてで、不安と期待でいっぱいでした。

初日、クアラルンプールのど真ん中にあるメディカルスクエアを全面規制した会場からスタート。夕方に降るスコールで路面は大変スリッピーで、案の定SS4でコースアウトし、大きくタイムロス。その後は慎重に走りましたが今度はエンジンの調子がおかしく思うように走れませんでした。2日目、17箇所のSSが有り、ラリーの山場となりました。パームヤシのプランテーションの中は相変わらずスリッピーで、エンジンもSS中にエンストしたりで苦しみましたが、プラグが原因と判りようやく調子も上がり14位まで上がれました。最終日、気を抜かずに頑張り総合12位、Gr.N6位でゴール。

こうして無事走りきることが出来ました。念願の海外ラリー参加でさらにこの世界の楽しさを味わいました。多くの方々のお陰であり、この場を借りてお礼を申し上げます。来年もぜひ挑戦したいです。

CMSC道北　7月30日

CMSC道北ジムカーナ

有意義で役に立った一日

当日は晴天にも恵まれクラブ員を中心とした20数台がエントリー。日頃地区戦を戦うジムカーナドライバー、そして日頃ジムカーナに縁が薄いラリー、ダートラのドライバーも多数参加してくれました。全日本でも活躍する田口選手がレイアウトしたハイスピードコースでドライビングテクニックを大いに磨き、楽しく有意義な一日になりました。また、オフィシャルとして参加したクラブ員も初めての経験に最初は戸惑いもありましたが、次第にオフィシャルとしての楽しみ方を見出し、今後の当クラブの活動に大いに役立つ経験をすることができました。

今後も競技会主催に積極的に取り組んでいきます。ご支援頂きましたラリーアート様、ブリヂストン様有難うございました。　　(CMSC道北　栗澤　傑)

CMSC香川　8月20日

'95CMSCアストロトライアル

大量エントリー110台!

8月20日、四国では近年希な110台の大量エントリーを集めて、'95CMSCアストロトライアルを坂出番の州特設会場で開催しました。当初予定していたコースは前日の試走で埃がひどく光電管で計時ができず、やむなく短縮することになりました。

競技の方はAⅢクラスでは島根から遠征してきた佐々木選手がミラージュで、AⅣクラスでは高竹選手がランサーで、CⅢクラスでは東谷選手がギャランでそれぞれ優勝しました。

写真左 AⅣクラス1位高竹選手。写真右 AⅢクラス1位佐々木選手。

10月7、8日にはこのコースで全日本ダートトライアル第8戦'95CMSCダイヤスタートライアルを開催します。皆さんの参加をお待ちしています。
(CMSC香川　白井　修)